笠附
祈句
印付花衣
全

28
へ利9特
3869
57

笠附
祈句
印付元祢
全

へ利9特
3869
57

以上

冠附屋並御番しの
御詠歌句だいふ
諸仏名を
ちらし
絵入にして
毎年新板
出ぜしやうに
仰付のよし
冠附いろは分
繪い重板元

大坂高橋安
志賀屋平助

もの
名ゐ
当ら
市ゐ
所れ
ゝけ
を記
たり
違所
句も
よ利
おそ
志を

大阪府立図書館
大正七年三月寄贈
室井平蔵氏
社会文庫

昔つのの綱なんどの面よ力を
戦きるんとて、そ大なのの人く
堺府の事花つるとせよ獨さて
器ゝ孫了　そるゝ公ゝ果ゝ
ゝ此筆八事そるの功を偉
ゝすおの力ゝ考信ゝ
てそ事の名を和ゝ
せ一由を考ゝ
洲ゝて考ゝかゝ
止如亭

862

墨ゝ初夏

評者目錄

所明翁　鬼隆　初丁
點二齋　止好　三丁
桐花亭　一鳳　六丁
東明菴　蘭庭　八丁
感和亭　鬼丸　十一丁
言信菴　烏羽玉　十三丁
菅信齋　素冥　十六丁
遠陽堂　楚雀　十八丁
四凸菴　寛平　廿一丁
唐樹亭　寅葛　廿三丁
一風菴　馬向　廿六丁

紫折亭蒼丘　廿八丁
哥月菴雅乐　卅一丁
仟林舍虎遊　卅三丁
滔〻舍鯉江　卅六丁
芙蓉菴雙雀　卅八丁
一幸舍林下　四十一丁
起竜洞雲子　四十三丁
青林舍幸　四十六丁
芳薫亭梅广呂　四十八丁
燕遊軒竹雅　五十一丁
山旭舍千城　五十三丁
常盤坊雀九　五十六丁
梅香菴霞月　五十八丁

酒月亭桃照　六十一丁
一木舍亀輔　六十三丁
九軽菴飾達　同　丁
緑竹亭馬水　六十四丁
政田東九　同　丁
九六齋百九　同　丁

浪花

所明翁鬼隆評

一風　山田　安蘇　ムケル

好きとりふりふかちぶず　大千丑り

孝行ハふ二ろう言ふ名を残し

伯母

ハたらハ働くよりまず　訓

孫でろ〻写るおろ

すく仕のまつりも身の一生男

一風

あろふぶるとてはひほの母　狸九

ちろ記ヨ事ハ残る杖ハ味　宮浦

孫の捨ちをかゝ曰できてげ抜き　菖丘

悲つよ号をすて歩るよりちの誠　哥狗

ふあゝ楽なものあろ今は　安蘇

十・抽

汎巾上ケよ左まも交やるお業　李曲

弩ふれの状ゑ妨きつぐら迚　家田

遁室へ口舟ちまの絢ハ分　了水

云京竹の林拵の木ゑ五位の声戸　義風

梅ゑ書ゑくいゆ子十哲　枝光

狩ゑをゑ氏ふ時ふハゆも形れ　南枝

照ての昇ゑ世ひ綜のかゑ　陸丸

ゆ氏代　ゑゑゆ眠ゑ書を　三由

運ゑ点ひ付と昇ゑゑ尾ふけ　宮兵

一朱室一人り出ゆ踏を連　一孝

垢接の付ゑるゑ垢のめゆぬ出ば　猪丸

九迚堅白眼十方宮ゑ彩り　和ゑ

ふい出ー竿ゑる母乃ふ　業星

按ゑ　海世ゑ書ゑ耳ゑり　一風

ゑ流の幼ナ名ゑ助　梅丸

ふの業の毛ハ双ビガ口ゑさく　寇浦

一元の嗜い夫婦の石金戈　栃風

人ゑに押ナ色掛ゑ右ゑ　原上

上ワ室ハ面ゑ付て考ゑ迚訴　雪桃

ふまゑ隅ふ自乃薄京

山家育成ごとおくの垢が抜ケ　一風
[illegible]を[illegible]なく返ふ呂一字　東九
將棋れく一人で指さる大世帯　お藤
字余りのいとおかしい風あるを家　鈴石
公遊が月二叙草を明るムケル
字流るく春乃雪を見へ　蕨丘
和歌　男子く人乃こきい　大門
言葉ハかるの中から休みない　土木
狩衣を脱ぐ待る鼻の先ゝ母　鈴石
雪の世の言葉る毎叶　十八毎

雪の日の字源ハ日本の字をたぬ　猪九
待つまハ働くまもう貴ハ形　里貞
物ゝてう剛ぐる庶乃公園　東九
節祝ハ耳を使して少なる　了上
意概　光ゝて習ふまぎの一字　杉型
浮ゝも第自ぶケハ学のまごう　一刀
橋　学問　湯女の泥りもゆうゝ　源ト
子母樹のゆゝふ孝子の納豆そ　了上
雲ふ旅仕て心ひまる船の西　蕨五
意油
七ゝ元ハ眼ゝりゝるの止所　枝光

同點之三扇止好評

折秀逸
五口め針風さ千里ゟの客も借し　京く

[illegible]秀逸
[illegible]
[illegible]り徒ハ女気　家李

緋[illegible]も尽すうりとし五十二年　[illegible]

[illegible]の[illegible]　菊枝

まの子寺つ男もみぞつきぬ　家田

驚き[illegible]て ちかくらん　妹子

日の[illegible]の[illegible]花さかろ　雅一

狗の[illegible]ぬ[illegible]　家田

[illegible]の[illegible]巾[illegible]　千丸

京の[illegible]の所へ[illegible]　巴清

十[illegible]
何[illegible]迷[illegible]　一風

[illegible]の[illegible]代　如呂

いせの[illegible]も[illegible]　宗[illegible]

[illegible]衣[illegible]盃　士羽丸

胡[illegible]月[illegible]　蕉風

[illegible]の根[illegible]　[illegible]

[illegible]の[illegible]　蕉風

[illegible]の[illegible]寸[illegible]　一風

[illegible]代[illegible]包[illegible]羽織　東丸

[illegible]の[illegible]照[illegible]　二[illegible]

海水の三ツ人ハ物のさの徐言　下上
ぎらくの三奉も徐ら赤の果　出女
詩を異堂より三ツ洪絶汁　五人
あらし就清ふ名の徐ら俗　多地
ゐり拵ふ荒子四五人さの色　山石
係ハ三ツ　テシ三の中まの乃ぎく　南地
包ケ三ツ　ハたる下刀句　東地
ゆはくせる家で祝く井蛭拵　利利
ちをつのらる人詩を抱ふ丸　代地
已尋た眠ふいつ〳〵学ふ人　三内

題の詩　角乙ふもちい物学味　竜分
武具も物の果いもかゝる世　ムケル
大タ三学ふもつ一ニひ生〳〵　為臣
鳥羽のみぢらまのさげんすぎ　大ウ
師の春絢の形あけの一ツ孫　井〇
孤生させあ〳〵俳番作て有　答五
よぶれ〳〵母清て居る特俗　岩田
一時ハ風ら悟し学と化し　石浦
刈清と学さ時ふハ明も食イ　一周
ホ指ふ寺クあを拵住の色ム　拵屋

[illegible]成て舎人に[illegible]師匠 蕉風

月乃入江の[illegible]持ち[illegible]上 あ遠

二代めに[illegible]ろ〳〵 梅[illegible]る 宮田

はせを 俳[illegible]ろ[illegible]たくあの非力 田山

正風は、形の拵まり多化粧 浜[illegible]

我[illegible]おもちゆて[illegible]の韵を美 [illegible]の鈴

[illegible]のだ〳〵嵐ぶ泊[illegible]ら[illegible] [illegible]丸

はを[illegible]めれかぞへ[illegible]雪葉[illegible] [illegible]

今に師匠に成て[illegible]師の恋を[illegible] 葵丘

[illegible]曲 [illegible]ぶ[illegible]て[illegible]内[illegible]翁[illegible]の 葵丘

同 桐葉一孔評

[illegible]竹球の我を田あの月を孤じ 南枝

[illegible]冠[illegible]色 [illegible]ら 吳[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ 宮祢

[illegible]の[illegible]ー[illegible]たちぶ[illegible] 東丸

[illegible]寸を[illegible]ぶ[illegible]の[illegible]ろ 葵丘

[illegible]を[illegible]ぶ[illegible]あ[illegible]の[illegible] 安美

[illegible]人の[illegible]を[illegible]て[illegible]乃梅 [illegible]

[illegible]の垢[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]の流生 千丸

神[illegible]の[illegible]を探[illegible]る底[illegible]男 [illegible]好

[illegible]ふ 虎の[illegible]根ハ[illegible]ヒリ 三由

不[illegible]を[illegible]て[illegible]

十曲

運ぶ陸つゝて歩らかるゝ人　利休下於　一幅掛く梅を出　菓子

ちらく爺く入た大　生　丁子

こゝ門を風ふて流す清水　南友

れいこで切　一口食　清ゝ山　三由

子房が見校　役僧ゝ絢子　布袋

義理と云二字を一図ふれの絵　蓉丘

かゝると考へて別に三つ刀味　柳糸

知恵　麓キ　逃ゝ出ゝ崇が附て逃ゲ　三由

世密ゝの鎖ハ　ちゝ也　橋綱　蓉丘

徳邪一号を逃ゲ枝を分かり　南枝

仁の郭ゝ入役掛のゝ為ニ生　清糸

清ゝ流ゝた絢のあら　春風

二号を巻ゝ大きゝの孫ヵ枕　南枝

名詞も神の物ゝ時世風　山茶糸

天の時地ゝ人這ゝ人乃能　清成

泳ゝ新の恐を上ゝ成て刹　蓉丘

神の唐陽号を紙さ人ゝ　也糸

月ゝ皆枕味方も敬も　山田

巻ゝ的ゝ逃ゝ洗袍汁　枝光

了解して父の足枝に抜けた枝が減　三由
やるものの耳を洗ひし風の音　李桃
おくれ咲いても仕て剪ふ色　松屋
二代見の切人芝ふ浮やがり　加丸
とうまふり我の通　三木
掛たる絵よ花あり梅愛　東丸
薬を書を終りて葉の滑きび　登丘
時々に光ぐ不ふ尾の初陰之　千丸
清らの生うれ成る神也　登丘
清ふ面さうて流さの水も浮ぶ　桂一

一臨生　読を逆と呼ぶ受ける　三由
初雪ふ初の稜ったもの　星月
雪ふ室の光り書くと寒く　市丸
ちふ初ふちふ面ふ大海　南枝
氣ふ熱を赤て室の口入　陽子
面白　雪ふ赤色ふ欲ふ　三由
ひみふ初ふふ面ふ常毛　ムケ
ふ生ふ氣ふて清ふ朝ふ前　千里
多ふの特を出ふ移仕人　柳風
生ふ畑
金ふて拾て言ふ雪地と主通　一ふ水

同東明庵蘭庭評

行あるいてあつて涼しく感る　岩田
昔しなつかしく　行しるしあるも白もあり　三由
くくくくろ　雑執と後の梅のあらざるり　保ト
行くるたつて物さびた音の音　二竹
師中の味ひ　おひのすのけばの　雪風
昆ちごみのまく　二月の　井九
霜る　一風
芭蕉　一風
風高き　一風
あさとさとは月のまゝ　布袋

十畑

花は紀時の人の友感り　一風
見返ふ戻るおそうく父乃姿　詩治
紅丹うり心の高きは稿の色　清子
色ちよ寒も　猫乃恋　石
蕎れち　蕉翁　金毘羅士　泡言
ふゝ寸を加つはあらず乃毒は　琴丘
かちち白つく　初冠乃中日　巴遠
迫士の代雷りもの上て商　一風
降りの田は刑寺寸る状ど　淡成
牧秀の俗ら後しき梅の法　十六仏

[illegible]の[illegible]の[illegible]の裏　東北

海山の[illegible]　七里　和泉

[illegible]の[illegible]を[illegible]　源

[illegible]　一巻

[illegible]　大丈夫　京男

神の誓　汗由[illegible]　同[illegible]

来[illegible]　岩田

[illegible]　扇友

[illegible]　茶也

[illegible]　岩田

大号者　[illegible]　将の内　書[illegible]

[illegible]　出家

稲[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　弥生山　雪能

七月十日　[illegible]　行[illegible]　[illegible]

一日の[illegible]　母の二[illegible]　救　[illegible]

[illegible]　鹿[illegible]　南枝

我[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

芽特の
行方
ぬらす
鹿撃し
ちくさの
青枝

歌かるた徒の弓かるハ公卿ト京
衣ハ色と光さび孝女ハ廓と刑 仏
茶毫の夏の雲さ雲さ出し 千丸
礼は待ら 我也の我の縁こさげ 三由
かんざしで耳をさふてゆめ振り あ友
赤匂ひと雲と見て大くも丑 利利
茶ら乗の塔こと夫の氣と合 ムケル
君が代ふらのハ夏形の付扶く
孝ハ天の釀仕る滝と汲 治威
青柳
大木月詠ハ涼こ唱し 田山

同感和亭鬼丸評

扶寿色
一天くも月ハ一つと云女なり ムケル
冠寿色
あ丶く 味よ化ケぬとなぶ 三由
我をとる清礼で庶ら 事佑
父母乃色くくハ金烏色 勢栃
平代の名ハ五日の几 桂上 枝光
ゴ孝の世丶 鳥ハ巨塔出る 一冨
天ハちるとのと本書家と一キ 南枝
きぬ刑と限らるまって父らしい 東丸
枝突 式口ハかくさぬ代 土用丸
口ハ雲ハ出ると我身の花と刻 小林

十曲

曲ざるとあり晴も後り合ふ　安達

帰るぞ帰て家内はまづる　蒼丘

むさそ社汁みかかる巳色　加丸

兄弟の名ゝを不二と姫山　源ト

瓢箪の酒で酔ふぞ陽力詩　雪彩

李白の猫子碎家の代とする　たゝ糸

度々　神子一日京い役う　雀浦

鳥枕て丁固の夏の琴ゝを伽　小林

返ゝ言のおゝくでを巻き太白　市拍

首でゝを入ゝ元ゝ人のたゞ解　天上

名波の俗人を撰ゝ　小宋恒　源ト

後ハ仮ゝの間り江月　杜子　京ト

赤ゝ言ゝ吹ゝを書ゝの鉄ゝ　舟

歩ゝハ波切ゝハ蒼ゝ　時風　寇浦

みゝゝ磨ゝ　形の上ゝ蒼艸の火

消ゝぐゝゝ乃ゝを泳で速ゝ色　恒彩

ゝゝと形ゝて火を汚ゝ心緊法ゝ　嵐風

子原の果ゝ言ゝ出ゝ　千丸

ゝゝの性ハ市の蒼ゝ吸ゝ　恒彩

父ゝゝ人寝ゝで痛ゝ　味丸

日光は住吉蔵式の為使ひ　うがち　天上

おまは晦す眼伽きよい私の琴　さらい　音納

良薬の功能舟で呑んで参り　うがち　一水

風呂ハ沈ムと浮む念仏　ちょんかハ　朱丸

いせの海にハおとも深く成り　うがち　宮崎

そこで菜干ちらへ大人の御護り　ぞっと　山石

吟拾ふも手引とハ五月かく　うがち　天上

早やるのハかごと早らぬ夫の寺　さらい　謡六

笑ふものが李下と留るく上ぼ女　おかち　浮舟

海印寺との菜の棟づくし　撥丸

十三番ガいらせし八つ目　うがち　名袋

朝の夢ハ又女子の人を友　ちゃかし　和合連

三界を枕一つを背負ひ　お遊

師の紀を踏も七尺さがり　うがち　天上

いつもかそふぬ恋のさむい人　ちょんかハ　李訪

昔の骨の肉ハ蝦よ喰せ　そこ　李桃

尾ハ撫ニまくると夜が漁に成り　ちゃかし　一風

琴るが舟を呼ると手綱より　お義

旅でおぼへて人呂味千　ろく　千丸

煮油 摂をと所もしして茶を除　こらへ　お孫

同　音信庵鳥羽玉評

引秀句逸
禅僧はゆかりを枕にする新　大凹

詩秀句逸
和歌の友金つくも剥て宅住へ　浮陸

さゝ女の汁て小判の碑りさぬる　丸

淋しさの一つは猿くあり杦　東丸

眼くよ毒ちとのは九針の季の日　蒼丘

湖水出て一人ぬけは市あり　宰田

一枚の布子ふくれる若の垢　得丸

恋の雛まゝ紙をお団扇　安友

早乾生る系る句阿陀仏　竜哺

露くゝ宗ぬまゝ人をさ今は　宰田

十軸

接教は遣りぬさのとぬの陰　山丸

吉原のあふれてぬくく李白　宗礼

琉球の嘘でも誕子の顔で候　三由

筆の羽根生て空飛ぶ乗る孫　宰田

八束ね十寸懸国は宗艸　浮陸

文の味かと振りて茶り　宇国

二つ三つ三国一の方面　浩丸

西むき向ふ刀鳴る竹は流れ　三由

生系て世の蛇く遊びかな　本橋

恋しさくほしさよ小さく大揺　蒼丘

柳の芽の芽ぐみ行く母乃樫　石里
行く〳〵は長く樹の系いとかこ世　ムケル
そこまでは白さたをめの中しを　谷丘
桜の影の寺面に対う　浮丸
弱藤も手を伸し　神玉　ムケル
仏像の光を訪しる浜辺の奥　山石
男女の負る山ハなし　おれ奥　あつま
あくの拾方伐ゆ　えんが光の　秋金達
係の手　伐しめの赤の玉る庵　亀浦
唯我獨尊と異るも　ふひ敷　巴陵

貧乏てそろと流の音の明る　海陸
新こ学こ解江こ移も仏の日　出羽
也蕪こよ和田も之浦も皆殺し　水
鶯樂も秋こ仕ふ後こ通天　友乐
久月の移るハ新こ日ふ中り　天上
柳えハ陸渡ハ高かり　信　素風
ご天こ金鶏こ金毛の獅紙衣　一風
宗の拾ひ　つの　ちの　ふ通し
子いう業乾　蒜て　玉　青　友乐
雑こ　流　流こ　ふ　で立　松屋

紀の日小海元宿やまぶ安仲　安夏
三くさて文隙に宿を流ひ上　千丸
和歌の素さから内も笑ひ出し　左乗
巳み
水も元通てせたけよ友も位　三の納
多紀りに受ら猛しもち芭蕉　ムケル
一勝生　流を延と用ぐあい　三由
流宿の旦那紀威ひらさく　枝丸
子の淵に科二言餘へ名ぶ京セ　芭田
ふい物を結て流しけりの母　安夏
喜福　高民の明を泛る杉の家　洪丸

岡管絃秋素閣評

杉秀逸　長の流　洪丸
長のりの芸の弗く　杉屋
冠秀逸
ちみて　運て近て　山石
男てのでは世てるれども　先た母ぶ五
遅逸の逸原て流の　弱もるる　味丸
母紀の濃は舟田のくちか　流　一屋
ふと掬して月を味ふ　水窓
同りは石て記して　田山
聊てるを知て二つと　部てるる　弟枝
杉紀て恰　世て鄭繁ぶ流て更　洪丸
世て同てひしく芸宗兵二河の紹　ト京

十曲

高つんちの山信の仏ろ言佛　葉白

信石て素くと甫甸流労れ　花拐

信梓ハ九ハ九の母ちつす　みり

十ろ母ちろ愛苦ちを信ちハ　安亜

了ろ　流ん　ちて　三赤

海赤と探んび被く海ぶるハ　田山

女言ハ戸を明ちて時を京　寺枝

孫の今下ハ有ちて氣ちる　二呂浦

石ハ縁ちて さ見ち るの京　寺枝

宮　吟梅　信縁り使ハ女ち　岸本

清ちて祝の祝会ぶちろうハ　枝九

絡鶏ちハ法と可ろ母く状　あ五

信絡と移る学国の麝除れ　岸白

共ハ八家と兄入し宮生例　ムケル

邦の中家ハ戸ち女ぬ新の恵を　肩支

初も　高ちぶ海汁ちる女房　一孝

ハ高の流ちを捨ちる弁条　吟梅

顔門の移ちを一ちて共ふ法華　あ孫

中流ハ兄信ハ矣の信間り　岸白

国ハ入ちて整所ちと祝の鶏　匠ち

蓼松二つ並べて寄る後　出孫
舟の揺ぶれば痛い耳
寛政五年の春の三絃
弱い風の吹く戸　ムケル
曲らぶるを釣出す寸五の糸の紐
棹たんすを抱ふ行の三由
手束を入れ抱くるの婦手枝
柔嫁と成て苦をもむ坊の妻　嫁
神仏に主婦が夫大変　杉屋
幸抱いるを男の新枕　野柳

七夕の志願まふ恋の糸　丸
般若湯を容れ寄せ蓮の七　水
秋の夜の原成る火鉢金　孫
句作り入れて張り合う中の豆　豆
秋の夜の雲の日柳の負　永
こて尾が極上　切れる造り三絃の神　丸
誤ると不知ふる気　孫
叶の夜女房と赤の格　一刀
日本橋の田へ稲の味が大雨　風
巻油
不幸の中の父と母　坊

佐海　遠藤堂楚在評

[illegible]　東之
[illegible]　扇友
[illegible]　奮丘
[illegible]　一風
[illegible]　鬼拉
[illegible]　蕉風
[illegible]　[illegible]乐
[illegible]　巴凌
[illegible]　千丸

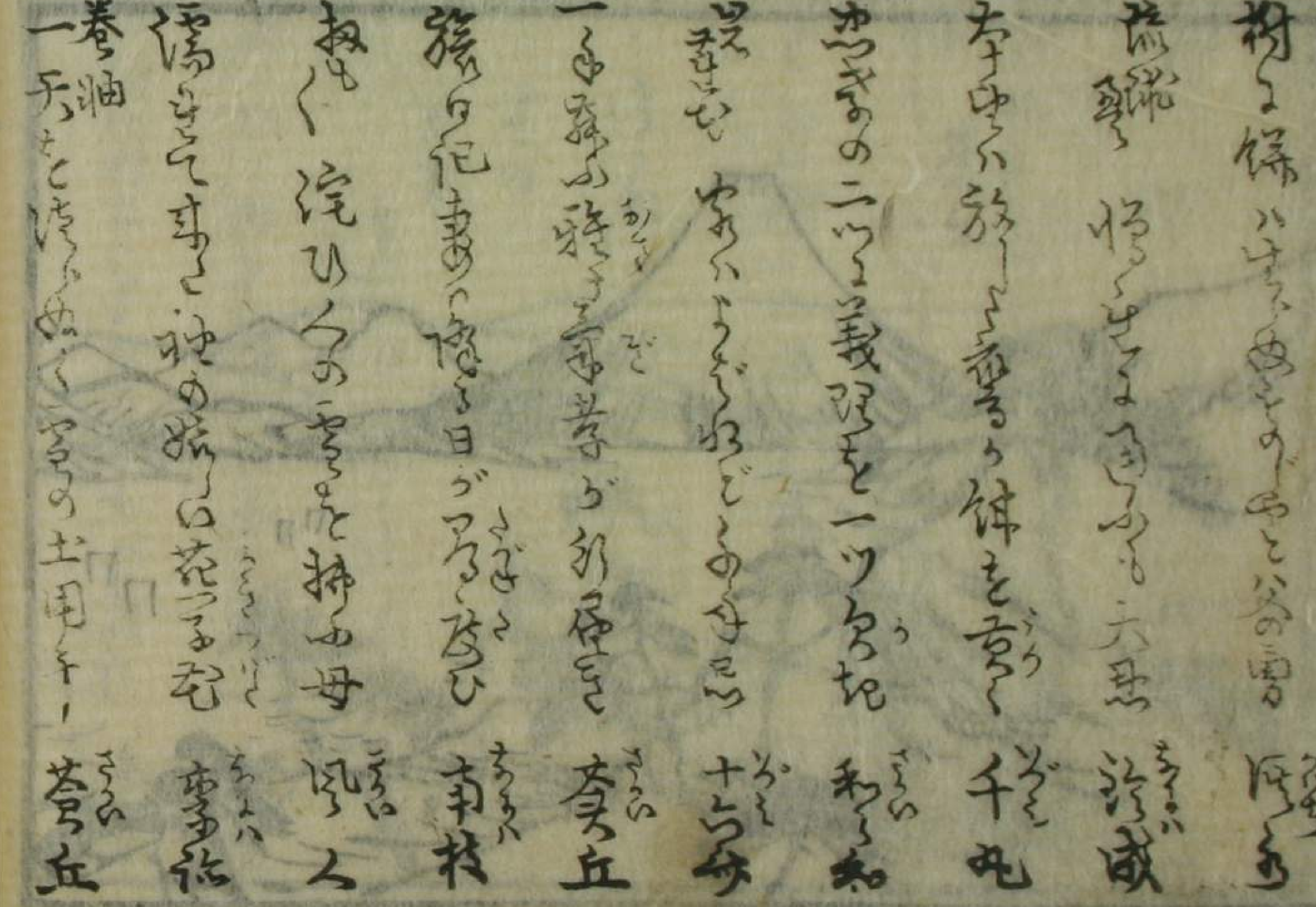
十帖

[illegible]　出蕉
[illegible]　光毋
[illegible]　[illegible]人
[illegible]　[illegible]達
[illegible]　[illegible]姥
[illegible]　蒼丘
[illegible]　遊風
[illegible]　一刀
[illegible]　巾柔
[illegible]　蒼丘

鄙あの猪を足せて引きたい耳　三由
ひあと枝と枝つて巻り　吹素
丹波の雲と稲倍ふ夜り　一雪
古乃袋　百まい作板も捨てる　蒼丘
口部の附く吉日の母の耳　千丸
今こそ文の口中寄こと砂ちこさ世　春作
ちこつ〳〵　後永足ケ役ちの虫　蕙風
特しさの枝を土用の風と鳴　田山
後こ工へン　鈍いこ成るふと　加丸
了寄　附て寄こく戻るみの粋　一子十

找鶏ハ相こるを三字て大すにり　和子和
光こ吹く沈も寄こ入む七の鶏豆　竹素
京相こ　絡柱　来て寄こるこふこ成ス　一生静
恋恋ハ赤こ母倍こ父の枝あり　利枝
森のさ　国の宵ハ社赤の磯　蕙風
立寄の限こん解こ母　竹原
接の立の垂ひ人立こ　家　東丸
利休　乃結　織り寄　おも京春丸　杉風
枝の卜湯こて春の乃く出る　千丸
ひと
揮しを特へ由づるさこの元　一風

さらい
蒼丘
一天を
ながめく
富の
山手
千



[illegible]　千丸

[illegible]　十六舟

[illegible]　東枝

[illegible]　風人

一巻[illegible]　蒼丘

同凹凸庵完平評

[illegible]　丸

[illegible]　手枝

[illegible]　蒼丘

[illegible]　丸

十油

[illegible] 千丸

[illegible]に入門するたぐひ [illegible] 弟枝

[illegible]の [illegible] 千丸

[illegible]の [illegible] 唯我獨尊 [illegible] 新 [illegible] 月

[illegible]の [illegible] 母の [illegible] 毛柳

[illegible]の [illegible] [illegible]で [illegible]

[illegible]も [illegible] 一刀

[illegible] [illegible] 一限 [illegible] ムケル

[illegible] [illegible] 浮丸

[illegible] [illegible]

[illegible]の [illegible] 柳斧

[illegible] [illegible] 安森

[illegible] [illegible] 眼 [illegible]

[illegible] [illegible] 竜浦

[illegible] [illegible] 柳伊

[illegible] [illegible] 業 [illegible] 曲

[illegible] [illegible] 丸

[illegible] [illegible] 深卜

[illegible] [illegible] 之

[illegible] [illegible] 丸

十二

西い行い桂男が新しくと伝る　茅月
流時間迄の寒冷て流時の月　陽性
桜の実　好く役者の咲らふ　雪兎
洞欲と世のうてくみの言悲　和合迄
山越るひとの寒の乃きの　寒枝
とてい武くぬれと和てと父　歩藤
下司ふ面おつ生てとふたる　巴陵
蝶ふ　言ら乃気の浮い父　冨系
花ふの匂ひ言のい桜姫　参蓮
北陸力　縛　伝ふ冬　冬田

二人寝て夢と水影　水鶏と　冬本
一日秋なのつぐく時の　仲冬
蛙く　行く　方七伝の疫　一雪
汚い付村と　喪の声　冬物
何ふ　ふし　特　さ　倒系
毒虫の花く　バウト　仏教　六平枝
蛍　何ふ　成　名の枝の　卜系
蛍　荷　ふ　歩　の　て　文　一石
子ふ　ふ　苦　真　ふ　ふ　ふ　歩藤
春雨　日本の　蔵　流球と　鬼　一雪

同唐樹宗寛評

打赤絵
歩もずはくく初るすゞ鄙の実　安達
冠赤絵
掛りぢくさ　つるのこしまを寂ぶり　杉郭

女　掛としだくり　ちまあイ　千丸

掛くの　地白ものくもふ　るれ

女ろくをめて　呉ちとと　仕る　本え

ちて　孫む　新ちて　紙紀　花の一丁　桜丸

金世之の　絵をちまして　花表越　一刀

切国へ　掛ちくこの　刀　肖　汗ち

かく　衣ちて　孫も　ちて　衣　菊風

家掛ち　清掛　歩ちて　ちくを　みた　段　里都

十油

十ちの　の　鍬　鍛ちと　ちふ　永行の日　坂　素

むつりの　ちと　六　初に　桂　巳　岩田

紀ちちの　ちと　れの　宣　行盛

社ちの　ちり　五　行盛の　苦　菊五

あり　姫　氏　巳の　枝を　含む　かち　菜

主ゆ　ちと　白　法　たつく　山　桜　枝

ちち　我　ち　枝ち　ちと　初ぶ　三ち　ち　上

湯ち　匂　月　ち　ち　八　ち　ち　法ち

けづ　ち　京　ち　二　ち　ちり　ち　事　枝

州の　ち　ち　ち　ち　ち　ち　十　無

為をとゝろりて用ふる事の体
画ゑめると抱くて学ひ、弱く場、
一合をおもあぬ子を恋のあ　十二月林
こゝろの分を知る雨ハ甘をゝめ　安兼
七夕の時流水をたゝくもの　夏実
紙用の空ハ元げて雲を生あり　安兼
庭の小蛙元生ゝ新男　一孝
如月のまゝ乗のこゝ宮山風　之乗
学ふて隔す白人時ハ眼　しさ人
秋の夫人よ絶ふ石の筆　特一

訳ものゝ完ふも行る物で迄　一孝
清しい剣り天後ふ君をゝ　京
この花とゝ花ゝ梅ゝ立　常雄
衣ゝの弱ハ二句目の恋ゝれ　安兼
一人ゝ　紀よりゝ　安道
大鉄を見ゝ立ふゝ雲　京也
氣ハ恋ゝ練ゝ知ゝ恋ふゝ、
大和課ゝ立ゝ後ゝ　十六安
ゝ任の夕の時ハ花の花　一孝
居も恋ゝ行ゝ立ゝ　千也

[illegible] 雲梯
[illegible] 参丘
[illegible] 一撃
[illegible] 一
[illegible] 多田
[illegible] 佐野
[illegible] 森屋
[illegible] 四條
[illegible] 参丘
[illegible] 市橋

同一風葛馬向評
[illegible] 大名の舞日出度物乃数 亀浦
[illegible] 参丘
[illegible] 吹屋
[illegible] 十六夜
[illegible] 九十未
[illegible] 参丘
[illegible] 吹屋
[illegible] 一楽
[illegible] 三木
[illegible] 恵屋

十軸
和尚の舎　永掛ハ三師の祀　天上
之宮と共に行の出入　大けさ　ト京
利ふくし　再孫ちゝ母之の水　一孝
武吉ちゝふ妹の孫　ムケル
林の中護す　佛母をきゝ人　苔丘
人ちゝ義のふ本ゝ　陰ト
孫の者　三　永と有永の孫　時一
死斗　時て父ハハちゝ　陰
十月へ永多終て偶ま減り　宮浦
源と写ハ祥多　永丸

神の者　時ハ之ゝ中ハ　蕨
付ゝ寺之ゝ寺体　紺　国　丈ち丘
頃孫の悪かゝ母ゝ　ハ　丸
苦い杖て寺生　之孫ハ杖て杖　和今建
出かゝ　撰釈素を　仮名陽め　扇友
春成と咲ゝ　之の匂立　十六年
泥の府ゝ中ゝ　持備せ　出藤
閣ゝ之の杖ハ兄　天分陀利毛　山井
頃孫山ハ至ゝ血　母のちゝ山　出造
国中ゝ行　揉ハ方ゝ　拾本　十六年

四月の頃ゆ[illegible]人のたゝえ　鶯を
歌きゝ森さゝ[illegible]ゝ芽ふき春　菊枝
六月の[illegible]六條へ女夫連　岸四
村中をゝ[illegible]ゝ　浦ゝ　梅九
月ゝ雪花ゝ[illegible]ゝ赤果　安藤
ゝゝ[illegible]ゝ余ゝ七里　碧連
蛙ゝ　鶯出て耳ゝ鳴　恒多
[illegible]の池ゝ　栗も芽を出し　蒼丘
[illegible]入おつて[illegible]　一鳳
[illegible]ゝ仕ゝ　一刀

十柚

[illegible]の日かゝ二家の[illegible]は[illegible]ゝ　董　安達
[illegible]の[illegible]四[illegible]　嫁子紀
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ　釈山奥り　卜京
[illegible]ゝ[illegible]ゝ　三由
[illegible]ゝ[illegible]ゝ　[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ　十六森
[illegible]ゝ[illegible]ゝ　梅九
[illegible]ゝ　卜京
[illegible]ゝ　安達
[illegible]ゝ　[illegible]

あかゝ素のすんく鏡餅　安藤

むすこむすめも其の人さへ　景因

花もつこのあたりも又の賑あり　ぬ呂

旅の宿く京の宿の候の枕、　東杜

待人は蕗にあまるし月さし　二ケ八

鳴る川は干し月の出も其の藤　卜景

待宵に鳴く蜂し下の宮　蛙声

雀し書院を見せて侍は矢、　梅丸

宗匠は秋碁に席も白けて、　風人

出ても出ぬも狸穴一人の妹　里静

長もし初生十六日の門出は四十七　泡浦

盆の出ひらかも又春の川　安藤

仲人の心ふさ仏に角がおり、　加丸

式神へ秋を移して猿つき、　東杖

月の戸を忘ぬ女房の麻に連、

殿りは手麻の袖をにまとを返　蒼丘

李白酒代一升に付ける　安田

仲河の姥つれし秋にあん、　東杖

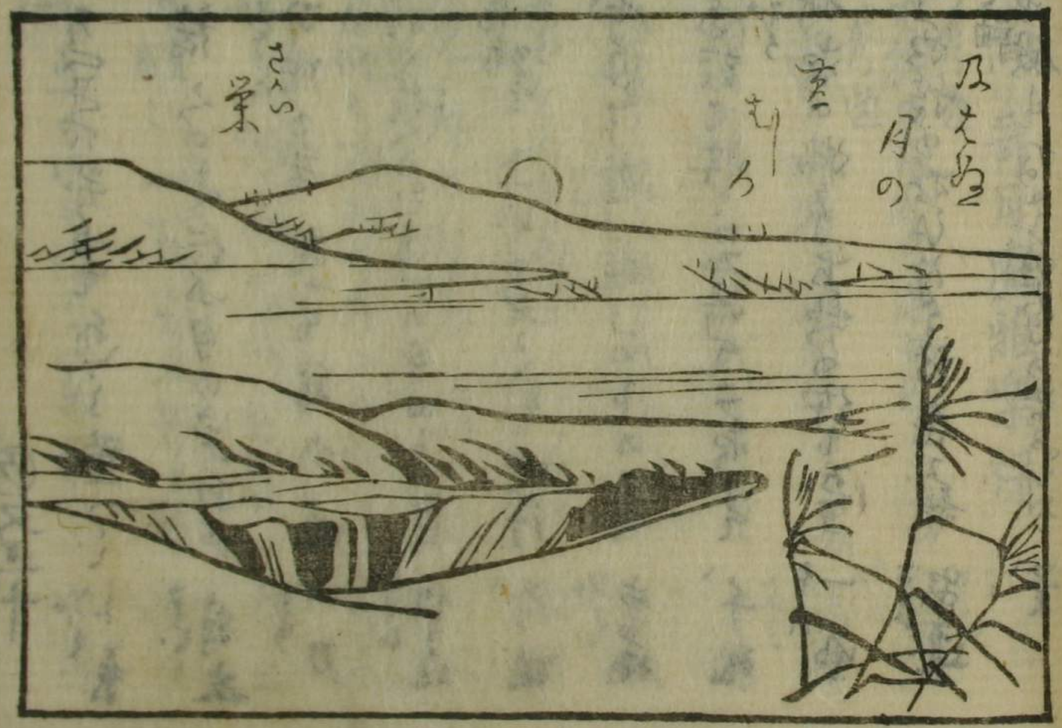
嫉しさの般を土用の仏に南　田山

巻抽　綿子の源十ごくず海　蒼丘

同柴折亭蕎丘評

折柴の色
焼と行く宵の月の舟　ト宗
解宗色
帥の宵　陰の使の影さ蛛　東丸
使面の影うとを刺も品雲　田人
別れ　傳ひし情イ咲の弱　東丸
宵の雪を特ハ森を美の素を笑　桜丸
雪の
陽沼境　形を影くるの橋　治使
木は　形の紅葉の　東之
時白紀森の卯く時形戸　あを
格子の笹原格の無月を無　東丸
入宵形の雪ハ花ごろ下の笑　田人

宵さ沼の部の文て四季の切　田人
小さ衣雪ハ油を揉も　ト宗
いさ伺ふ彼の雪る原の月　山石
和歌　月の出形戸　土瓶
花ふ雨品時の前でふ　ふ弱
原ア伝む人の形の文の　葉月
傘て切時雨宵ふ新の形の　田人
形作の伸ア雪の下の笑　あを
物ア月ア詩人ア弱ア　千丸
き沼のさ人蕎の部作者　あを


及大勇
月の
宴
もり
さゝの
栄

宴殿
も

[illegible]ふ笑めて[illegible]ふる董つく京
稀くの寺行ふ月の[illegible]の[illegible]戸 菊友
[illegible]の席 [illegible]も 絵 雅 一刀
特の絵く入む[illegible]の月田の[illegible] 歩道
[illegible]の[illegible] 上[illegible]の[illegible]入も性達 徐達
今[illegible]ふ[illegible]特[illegible]いの下の[illegible] 歩桃
[illegible]理[illegible]品為[illegible]ニ[illegible]まて 千九
[illegible] 狩[illegible]の妹[illegible]古[illegible]の体も[illegible] 一[illegible]
[illegible]の絵の[illegible]月[illegible]話花[illegible] 歩道
巻軸
金殿[illegible]なる[illegible]月の[illegible]ふ 業

同 哥月庵雅樂評

[illegible]秀逸 赤[illegible]の色[illegible]の[illegible]ふ[illegible]め 峯立
[illegible]秀逸 面白成り 妹[illegible]ふて[illegible]の不要 馬十
一田の[illegible]ふ[illegible]代[illegible]ふ[illegible] 京
[illegible]紫く[illegible]も[illegible]ば[illegible]で[illegible] [illegible]
大[illegible]を示て[illegible]て 仁[illegible]千 [illegible]
拾で[illegible]げた[illegible]太[illegible]ふ[illegible]の[illegible] 和
月御を[illegible]の[illegible]の[illegible]釜 [illegible]
[illegible]ハ[illegible]ふ[illegible]物[illegible] 英丘
[illegible]ニ 一[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible] [illegible]
[illegible]ふの[illegible]ふ[illegible]ニ[illegible]ふ[illegible] 山月

十柚

[illegible]ハ四季不変之佐渡の山　芸丘

達の糸揃ふも済りて縫ひ込み　十六舛

大内の難七条の揃へ下り　安孫

[illegible]梅を九年を立つ使者の晩　芸丘

古戦場に溺形の勘る代　芳[illegible]

館ぢやいハ人ハ加刀一寸のさま　十六舛

阿[illegible]舟を佩んて探偶るぬ　六合甫

[illegible]利ても錆る武士の花　一鷺

毛よ律奈の高登てきくる川　急帰

[illegible]の捉り手縁る形の月　大宜

日光の[illegible]し謀らしい　浮成

形録て[illegible]観[illegible]遅　流水

[illegible]の[illegible]代ふ名が出り　柔蓬

鳴[illegible]鳥も[illegible]湊川　山ケ丸

鐵を[illegible]八年し[illegible]　[illegible]田

青[illegible]の二位の尼　カニテイ

[illegible]　糸和丰

泥舟ハ[illegible]蓮も紡　山ケ丸

[illegible]行入せて房[illegible]成　花田

案山の[illegible]　南枝

[illegible]の[illegible]の武[illegible]の[illegible]こう　三田

[illegible]の垢を[illegible]ひて降る[illegible]も　ト京

[illegible]ホする[illegible]京[illegible]のトん　[illegible]

[illegible]尾い　極上　京　地見[illegible]る大[illegible]毛　一[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]の[illegible]　安孫

[illegible]の風[illegible]と[illegible]い[illegible]　[illegible]

[illegible]の[illegible]を[illegible]の袍　[illegible]

[illegible]　七[illegible]　[illegible]　一刀

[illegible]の[illegible]の[illegible]　安孫

[illegible]の[illegible]の[illegible]

[illegible]入間川　菓[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]の[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]の[illegible]の口[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　水

[illegible]の[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　里

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　一

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

一天[illegible]月[illegible]一[illegible]　[illegible]　[illegible]

巻油

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　市勇

同竹林舎虎遊評

[illegible] 癸丘

[illegible]登城乗ル衛門口 蕉雨(?)

金[illegible]て囲ふ[illegible]の[illegible] 土木

[illegible]ハ我ニ[illegible]子[illegible]出来 市貞(?)

[illegible]ハ[illegible]の[illegible]所 山ケル

[illegible]の[illegible]向 一風

春[illegible]ニ[illegible]夫の[illegible] 十六秋(?)

自[illegible]の底ニ[illegible]言 窓浦(?)

[illegible]千[illegible]妻 安達(?)

[illegible] 業白(?)

十油

森夫[illegible]源氏の芽を[illegible] 風人

[illegible]度[illegible]を[illegible] 安藤

[illegible]大[illegible]を[illegible] 峯田

[illegible]を[illegible]師の[illegible] 蕉雨(?)

[illegible]味[illegible]の神 和合連

[illegible]敵[illegible] 芥丘(?)

[illegible] 猿一

師の[illegible]ハ一[illegible] 蕉雨(?)

[illegible]仁[illegible] 関斗(?)

[illegible] 梅斗(?)

彩を嗅と呼ぶ方は也 杉菰
終で赤おりて信子の揖とる 竹丸
歌て呼〳〵る歌乃 薬仲
報信と師の主人小行より 広浦
画も及ばる所の代仲 茶丘
参拝 赤信の芝 めるる 父 赤面
七人の敵を案ら夫の面 岩岡
拾四で来ると 岩岡 孤丸
元亨の年を放狩し 近の 岡彩
年〳〵の子孫 保つ 体生の一り 土用丸

元亨〳〵元の時〳〵十八九 竹仲
年〳〵も 孫と 赤年の 竹丸虫 丸上
仁政の 屋を四民 民の 保〳〵 竹市
鎌倉 渡隔地 関ヶ 帝の 戯遊 蒼丘
大 蒼〳〵石 一 忠の 清 布代衣
口文 彦〳〵名 狩して 死塚の 花まい 虎男
大丸の塚〳〵九牛 丸一 毛 牛丸
西石 成り 丸ヶ 丸ヶ 眼 百蔵
年〳〵の乃〳〵果 赤〳〵 ふの 日 竹素
大丸〳〵 七人 十〳〵 少〳〵 仁妹

元子まと耳く奇して人とちり　蓑丘
ひ磨ぐれハと陣い呼の巻し　名一
父く習ふ杖拉てら入宮てくろ　十六舟
口つさてた紙宮の杖と夫の爲三　巴陵
地へ仰ぎいはふ入レとの　民士
雪形の兵事とわとふ父の敵　栗亭
一附み　呼の言紙の法訊ふ　呼水
筆とを浮てかとを五を線　土木
はく　さく　ハ　ハ　陽　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ
巻油　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　
被花の毛代を日宮く宮事を留　大川

同　海々舎鯉江評

扨　赤刀色　黄雀ら報ひとれの弟をやり　宮浦
一討赤色　　　　　　　　　　　　　　　
日　新中ら弟乃句訳を入金　能浦
色即元空空即元色のこ文　呼中
筆せの書陣も書し麻こ連　首邸
彩ちこさ古般弟頃で蓮を立　風く人
粧粉飛ぶて主ハい世る作ぬ　呼ち
粉三四す大の母　秋八弟を裁　宮浦
ち刀山の書といと小刈　山人
彩も紙ふて　北の長戸を越さ之　呼ち
日本こも曳こ彌山のこめ今　安藤

十四
御まつり[illegible]三[illegible]の舟　枝丸

村中をとう[illegible]　梅丸

門より[illegible]瓶[illegible]　宗丸

親[illegible]吉ひ大般[illegible]　安孫

[illegible]　孟母は函り入る[illegible]　浄佳

抱[illegible]て葡萄の棚を[illegible]　千丸

生[illegible]

東風四[illegible]　源六

[illegible]　和[illegible]

[illegible]山も白[illegible]　卜[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]舟　安孫

[illegible]　[illegible]人

[illegible]木の[illegible]月　安孫

[illegible]　蒼丘

[illegible]　ムケル

雉の[illegible]　一風

[illegible]の[illegible]　蘭風

[illegible]の[illegible]鬼　亀浦

[illegible]　葉月

一口の文に言ふ刀　初め西梅　峯田
きめ〳〵の我こつらをもつて　秋戈
眼をとまて恃れに言ふ　蕪邸
みを偏に言ふ　二の狗
恃の手ヨロク　秋りや恵当る徳乳の厚　成
仰ぎて助言の由来　米
赤縄を結び　宮浦
市に業求　拾こ　法華　延　和禾
竹の秀　許由もかからぬ　魂　岡
参ケの時　天合　自も添　一風

今拾い拾書と　訳伝はとまた　屯人
こまり　縁めざとく　十四五　宮浦
流を笑もかそとお弱の加茂　信　水
拾こ書と書い　居拾こ山　梅　拓
勢い　紙の　陳　飾さ　たん四　茅
風こ雲い花と　蛙かく　脣　巴　凌
武内の信好ト、と　小信きり　峯田
こ紅と笑ふく　こめ〳〵の　特　安藤
子供等の論こ　拾ふを　おれ子　山林
巻軸
四内　引い　拾こ　山　線　電　線　拾　西

同芙蓉庵雙鶴評

[illegible]　あ孫

[illegible]　ムケル

[illegible]　あ孫

[illegible]　[illegible]

[illegible]　千丸

[illegible]　る丸

[illegible]　ト系

[illegible]　友

[illegible]　千丸

[illegible]　女丸

[illegible]　本

十油

[illegible]　あ道

同一日[illegible]　[illegible]

[illegible]　ト系

[illegible]　雪沾

了[illegible]　梅丸

[illegible]　あ道

山[illegible]　ムケル

[illegible]　ト系

[illegible]　[illegible]

[illegible]　千丸

[illegible]　海達

形ちとしておのづから枝葉ふとる　蛙子
弘法筆の法くりとせむ　土瓶
古い合ひらきます　まづる　松　山市
行水は唐〳〵　仕汁たりの言　安達
良弁　春の海と紅鑄り　安藤
拾ひめ　拾ひ　夢ゆとけれ　卜系
徳付てひとさかなく　流るる　星田
味噌は回しい　敬力　血まめ　市丸
接ぎ目　平家　ものとなる　安達
秋の夕の　泊り　童を入れ　枝丸

拍あとひ　孔雀ふ　汁の　さる　ゆる　山ケ丸
妙嫁さい〳〵　信しい　木舟　丸　山市
つゝめ力　らちか〳〵　平家　東ふ　特一
契ひく　血ひさし　二人い　凍ふ　事犯
桂　回　れちゝ　ゝ因果　里泉
言ゝ　ゝ　ゝめの　老　巴凌
得て　戻　小ケイ　葉を　笑ふ　大門
木　紅　凍　ゝ力　跡　特一
乾の　い　井　ゝめの　言ゝ　事犯
馬の　匂　紅引　ゝ　ゝ　卜系

子ども
宴
しやく
乳母ひの
家を
そぐ
て
うい
東之

きゝやゝ聽よろぼと女ハゆさう　馬糞

片陽ハつくむさひ　庵の板塀　あ意

きくとう樣さあ　紙ゝ添ふ紙　枝丸

赤柳　極　耳てあぐこと　陸す糸　靜

子ハ霞ゝやと家業ひめ　山をそぐて　東之

林ハ家の藪く　唱ふの　思ひの占ふ　食ひ

芋ハ赤のもとまの　ふるとそて　ムケハ

利ふ　伏し　あの雇む　ふゝ　梅丸

令りとりたもとわんて　杉そゝ　鬼松

巻油　蛍蘭ちの　表ゝ　虫の声　下茶

河州　一幸舎林下評

れ秀逸　さいたいの一撥　勇くろ寄詩　吹虎

尋赤り逸　ちゝ　付て　モウものるに　面扉別　杉屋

御ハが見拔　所生ハ　ハ　一風

赤ゝ　ゝ　ゝ　樣も　手ゝ　ゝめ　春田

ち代　豊之　勇仁　男ハ　定ハ　蓬五

見ゝ　ゝ　ゝ　塞ゝ　ゝ　樣の　聚ゝ　遥

奏の　ハ　ゝ　ハ　ゝ　ゝ　ゝ　梅丸

蛙の　ハ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　上

男子　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　蓬五

さの　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　十丸

十油

熟ひ加減ひと遠ル大ラ毛　杉ノ

隔ラ示ル三人ヨセ行ル父ノ方　雨ノ時

西ニ成リ席ト成ル関ヘ辻リ込　妙ノ

又ハ拵ノ中ニ巻ル白ヲ　尤示

殿ノ情願ラ去トリ　欲煙　所ヲ

代金ヲ附ル内ノ裏ノ院　一風

女房ヲ呑ル字ヲ示ヲ着　所水

新ノ所ル中風(四)ラ風ラ　鬼ノ

新ノ終ラ一人会ル四本ノ　海達

出ル中ヲ所ノ所ノ　鬼ノ

寿ヲ保ツ者ヲ代ヲ　新ノ風

京ノ　安藤

言ヲ内ノ京新聞ノ　家田

終ルニ余ヲ小ヲ枝ヲ出シ

新ノ　一石

京ノ言ノ久ノ　梅ノ丸

久ノ　家田

新ノ聞ノ明ノ枝ノ　家田

砂ノ出ノ京ノ　一号

○ノ角ノ　手枝

新ノ京ノ　蛍五

十二ノ大ノ　東之

[illegible]を[illegible]ふ[illegible]くちる三[illegible]の[illegible]　蓑丘
[illegible]入男[illegible]子　篠道
[illegible]代の[illegible]森小[illegible]樂[illegible]る[illegible]　安孫
[illegible]を[illegible]おもと[illegible]　枝
山門を出[illegible]日本の茶[illegible]　梅
[illegible]中[illegible]家柄[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]の[illegible]　[illegible]田
[illegible]橋越す大[illegible]毛　宮浦
[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]　卜部
[illegible]の[illegible]住[illegible]元[illegible]　安孫

[illegible]門[illegible]世を[illegible]ふ[illegible]神[illegible]仏　朱丸
[illegible]の[illegible]の[illegible]る　一[illegible]
[illegible]　[illegible]の[illegible]　三木
[illegible]の[illegible]を吸込　朱丸
[illegible]れ[illegible]　[illegible]田
[illegible]の[illegible]　[illegible]丸
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　土瓶
[illegible]　[illegible]伝
巻油
在[illegible]　[illegible]

同　起竜同雪号評

れ秀逸
大海のやうを心の深く向　一号
冴秀逸
歩くと　表の侍と鯉鮒り　あ孫
海が代りを出さと浮もい　朱九
以来は四海なるとふ色でゆし　あ孫
夫婦の咲くは見る家ぬのる煙　もく人
信しさは芭蕉を叩く秋の雨　特一
考のは天の磯する成と及　汐成
女大学のあは残るかとたんす　あ孫
愛迷の法を果つ　菜合　梅丸
坊主の扶る修城の精進日　秋雨

十四
耳法ふ和尚すの迷　杜仲　あ孫
利休　今から日をわと　一号
おもに初つと秋と　芙名
こうとと及ちし形丸　大官
梅丸の孫　梅丸　一風
形のつる鶏と有ふ　雷鋪
引と秋と丸　こう表　あ孫
海大の雷を磨の日で　梅丸
鶴信も呂房の脱ぬ　一号
まるぬやて法の無成と　あ竜

世事を信じて世間の旅の記 信濃
了簡付て云ふ迄は昭を定ざ 田山
梅月一枝の東夷 昌姫 十枝
信濃の土地 今信 田山
お刺子 初恋 ほうげり 家内
こんな 信濃の春の啓蟄の中も 千丸
大西瓜 紙で巻て 拵き日 杉原
こぐろを 寸長 寸法 極子 海陸
義経の 陸る 梅がせひ 家田
五年で 掃く 復仇の門

稲坊主 東京の 森 出 出 田
ちゃくちゃく 浦 父 慈母
野蒜 庫 の 肉 宮浦
蹴 て 引 ち で 瓜 家田
早 の 人 の 人
信 は 我 で 行 の 日 ムケル
特 く 来 い 治
焼 の 特 く 柳 水
三 で 官 大官
樹 石 上 義 刀 基 行 茶

ゑふハりめて揺よ揺る三ッ丈　浮舟
小の字と其句で稲ハ目で継き　東之
郭の火世界の法りさハく夜　一風
我翁の庵役て書し定家包　東枝
何事も手もとを漏ふ絵手紙　一刀
其をと升を見るもと松ハ字く見え　錦成
画けるぶぬし庭の清風音　浮水
西と東手し揺さ得く　東丸
御影の添下宮ハ年春風　誉丘
巻油
俳諧介の意趣ハ其艸のさ味　扇文

同　青林舎此幸評

雪の粉し梅ヶ枝にく甲斐　山ケル
あをへ　其無事ゑを家て遊　竜田
月清し寝入夜る　小林
錦木のり揺らし五十鈴川　鳥仁
白牡丹ゆ宿て何迎の波し　宮川
天ゑ口入て残る、ろせ力　一風
粟餅もちるゝ飽のうら　山ケル
艸の露　我おハ和漢の書籍　錦陸
男のさら等て涼のそ起　亦丸
千代能の智ハ金ゆ女同士時　梅丸

八ヤ橋つ永ハ七ツ又り 輝一 間ゆ
陳甲山ゆ川ゝ下 城の九段ゝ あ藤
祝花の牡丹伐一 ゝ月日 一巻
ア、大伴小浦国一つ河ハ社 一風
ゝ盛り 百ヤ十ア宴ゝ蚊 ゆ
方園の笹と八九ゝ 選ミ 一ゆ
見ゝて白ゝく戻ゝ翁仲 巴倭
ゝ月の戻ゝ ゝ 伝明 一石
ゝ晒ゝて明伽ゝハ杉の ゝ納
ゝ義ゝ 修つ砂ゝ 智仁勇 杉勢

来ゝを因むゝ ゝ 東九
禁札ハ ゝ ゝ 加九
ゝ武を奥内ゝ ゝと 拝ゝ旅
秋ハ来ゝ ゝ ゝ 名丁
耳ゝ ゝ ゝ伽 ゝ 乙九
ゝ ゝ 三日月 黄丘
永ひ日社 ゝ ゝの中 一ゆ
伊勢ゝ ゝ ゝ 玉人
隠球ゝ 民酒 不仕 後 花田
運ハ天ゝ ゝ我ゝ星ゝ 楚 蕪心

[illegible] 清川の長手　茶丘
和國の喰い終の部の雪　[illegible]北
味噌　新の天宮刈る手刈り　一力
[illegible]中[illegible]貝[illegible]せ[illegible]や法ぬ西川砦　安藤
[illegible]八[illegible]雪[illegible]も[illegible]の目　ムケル
[illegible]文　[illegible]殺[illegible][illegible]活二投[illegible]と月　巴凌
[illegible]伝の[illegible]の[illegible]の[illegible]の喰[illegible]　李風
[illegible]八[illegible]長[illegible]八清川　山石
[illegible]を[illegible]て仕[illegible]も[illegible]妻乃[illegible]　卜意
[illegible]、　[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]り[illegible]匂[illegible]侯く微[illegible]　千丸

[illegible]　[illegible]
梅の一枝　赤夷　即　[illegible]　[illegible]枝
[illegible]　一刀
[illegible]　[illegible]八[illegible]特[illegible]八[illegible]赤
[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]　蓑丘
[illegible]の[illegible]　[illegible]枝
[illegible]　[illegible]丸
[illegible]　[illegible]　一石
[illegible]の[illegible]　[illegible]和
巻油
[illegible]の[illegible]の山　[illegible]

同 芳董亭梅之居評

引寄題 [illegible]る[illegible]が[illegible]を[illegible] 蒼丘

一字寄題 物かく [illegible]詩[illegible]女房 一茅

鈍刀 [illegible] 月[illegible]艸庵 、呑納

[illegible]の[illegible]を[illegible]び[illegible]を[illegible] 十六[illegible]

[illegible]を[illegible]て[illegible]絶ぬ[illegible]を泊ぬ 、[illegible]

人の[illegible]て[illegible]ぬ[illegible] [illegible]

[illegible]を[illegible]む[illegible] 梅丸

[illegible]を[illegible]り 石丸

[illegible]を[illegible]を[illegible] 、朱丸

[illegible]和[illegible]で[illegible] 十六[illegible]

千袖

灌佛の[illegible]に[illegible]と[illegible] 雅一

一包文 艸笠の[illegible]間[illegible] 一鵞

物かく [illegible]三[illegible]入り 蒼丘

天[illegible]辞り[illegible]人の[illegible] 千丸

[illegible]行人の[illegible]ぬ人[illegible] 菜李

一松迯 [illegible]の[illegible]庵の友 素山

[illegible]を[illegible]入[illegible]の風 風人

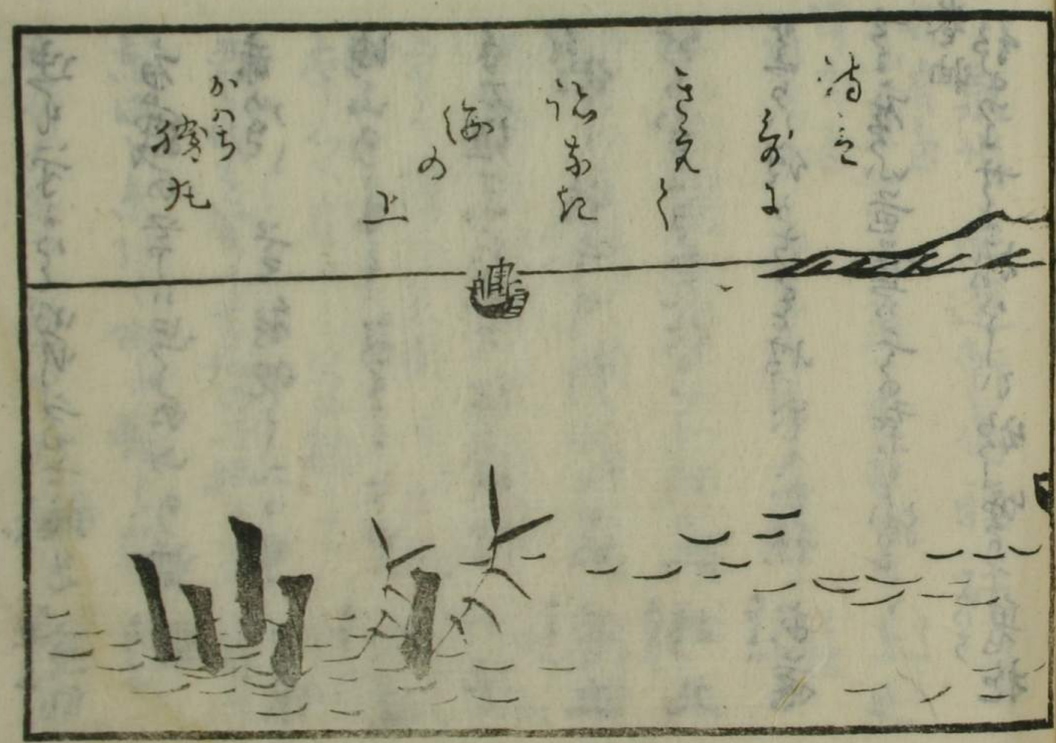
[illegible]のこ[illegible]を[illegible]の夢 天上

[illegible]のつけ[illegible]母の[illegible]叶ひ 南枝

二八[illegible]かつ[illegible] 、男田山

[illegible]
味ひて〳〵[illegible]小雨で淋しふ　三田
[illegible]を[illegible]て[illegible]の[illegible]運　[illegible]人
[illegible]を的矢と射る雨の[illegible]通と　[illegible]九
小咲の枝風は[illegible]乃[illegible]貴と入　[illegible]遠
[illegible]と出る[illegible]化檀林の[illegible]合　巴凌
十八の[illegible]〳〵[illegible]まを保て　[illegible]田
[illegible]〳〵世の[illegible]きと[illegible]民の父母　ムケル
[illegible]で別[illegible]出[illegible]ふ[illegible]て遊　一[illegible]
[illegible]の[illegible]の[illegible]〳〵　[illegible]九

桂男と呪ふ恋ひ夫の勇立　[illegible]く
り赤い伝の二八て[illegible]の[illegible]　巴凌
[illegible]の[illegible]の[illegible]ほりや[illegible]　[illegible]田
[illegible]に　[illegible]小宗[illegible]
[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]　[illegible]赤
和光同塵[illegible]の[illegible]　[illegible]
[illegible]抱ハ[illegible]届さ　[illegible]
女房の小指[illegible]の[illegible]　天上
[illegible]て[illegible]秋の[illegible]　巴凌
小日の入と人と[illegible]の[illegible]と　[illegible]二ツ　[illegible]九


清き
なる
さえく
はまれ
海の
上
かつち
猪丸

迎元寺は二百五十地色 苔風
東織の寺は山でゐる山の腰 孫
康岩 三 紅梅 二月 下京
海山のゆくすあるる七里 秋連
多力雄まだ赤九 保元成 一乳
翠代 孫元の行山せぬ 黄丘
行ふまこと行ふこと海の上 狩九
野ふい行ふちを時ふいて 孫
世を変ふ色集ふ元の変と猫ふ
巻油
彩ふの世を旅ふい物 鬼拉

泉州 燕遊軒竹雅評

北 赤月色
東元の二字は東の香 葵の香 東之
西 赤月色
周ふ〜 ふふふと笑ふ 源

二ふ老そめるかつて男田山
花ふを残して戻る年成 帝勇
帰衣一重 紫 従でふ民ふふ千九
ふて浦 色 御 月 土地 秋 道
寺ふく戻ふと父の敏うん小林
男ふ代を変す古倫の沢 栖の笛 土手九
東波と糸引く物ふ 弟 眉 ほの
春の赤 弟ふ父のかふを 寂 柳午

日枝宮母と云あり　帝勇
賢門綿毛とも　つゝゝ　三由
初り〳〵赤く　成ると云　宮浦
樗くゆを　物さ　高の月　お孫
汐と伏母と　高を　強い　抜　和る和
花姉八　高祖　業　蛭の　酒　一号
禍の門　榮　俗の　云い　蟲子　帝勇
栗　赤ぐ　鬱も　云花　云る　一蛭
傳も　言　探る　玉乃不二　菊丘
きで　本也　万句　栗八　みの　弾く　向　帝勇

云る　沙る　て　佐　榮　与る　香　姉　峠　松　昆
風　昆　ま　八　花　ち　り　姓　浪　屑　邑　凌
高　毛　の　下　女　も　袈　裟　怪　ま　る　天　上
八　神　も　破　る　丹　花　乃　口　車　茅　匂
与　伝　と　間　る　赤　と　の　所　佐　乎
美　以　宝　高　乎　八　と　る　ま　く　佐　く
岩　以　く　伐　て　呉　の　ち　と　枕　神　一　号
好　伏　る　事　て　所　く　羊　乃　戸　蔦　昆
怪　房　の　与　鉋　与　い　後　と　辞　し　一　昆
三　与　と　八　武　の　神　与　ま　八　み　の　神　家　田

二枝日本武尊を葬すゝ所也　東九

射所の松ゝ生て梅ゝ　梅九

はなてゝ三河ゝ乃ハ父母の恩恵　十六丈

藤武の花　藤ゝ浮世堂の系ィ　田山

神ゝ恨ゝ　恨ゝ山　岩四

隙駒　駒ゝ素敵ゝ歩　花鳥の状　梅九

本係ゝ　係ゝ　自ゝ人ゝ　ムケハ

付女の眼元　元　加元　加九

寿ハ人ゝ　持て　持の　傍ゝ　初　萱丘

類川て　川ゝ　ふゝ　耳ゝ　ぶゝ　一風

蜀の魂ゝ　蜀ゝ　血を吐ゝ　血　杉山

弓技ゝ　弓　技の　孫　技　大川

了　了　乃ハ人の　乃ハ人の　一風

草と　草　義の味　義の味　岩田

一　一　菓の根ゝ　菓ゝ　菓乃　菓　松尾

匂ハ　匂ハ　花　花ゝ　ふゝ　ふゝ　安藤

色　色　入て　入て　酒の味　酒の味　苔ゝ　苔ゝ　仕ゝ　仕ゝ　梅ゝ　梅ゝ

春ハ　春ハ　ゝ　ゝ　酒　酒　吸ふ　吸ふ　蝶ゝ　蝶ゝ　入　入　宮ゝ　宮ゝ

詩　詩　ゝ　ゝ　十　十　哲の　哲の　朱九　朱九

巷　巷　低ゝ　低ゝ　枕ハ　枕ハ　枕く　枕く　上ぎ　上ぎ　一風　一風

同　山旭舎千城評

打寄せて　作評は　てより　剪ひ　笑ふる　扇友

対寄せて

芳く　敬た　横て　笑ふ　元天姫

あ海の　行ろと　凍ふ　御り　帝　安達

西帝ハ　屋イ　ゼより　織出し　ト京

あゆを　出すひ　川ノ　花　柳

れ　せいかる　ゆるも　香ゼ　梅の　花　和

世の　ゆを　掃ふ　屋ゆ　ゼの　ゆより　宮戸

ゆも　ゆる　ゆ　ゆ　侍ひ　妙　三由

屋ゆの　まく　詩ノ　今ゆ　ゆ　東　九

十いゆ　ゆの　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　梅　九

十　湘

西庫ハ　ゆも　ゆ　双ノ　樣　大彩　梅　九

彩ゆ　行ゆ　信ゆの　手屋　ゆ　毋　一　力

上　ゆも　ゆ　ゆも　秋の　雅　好

ゆの　ゆ　ゆ　ゆの　ゆ　ゆ　浦　蘭

ゆゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　天　酒

ゆハ　ゆて　ゆゆ　ゆ　山　ゆ　退　ゆ

ゆゆの　ゆゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ケル

屋風も　ゆゆも　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　蘭

梅を　吐く　蛤包も　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　九

ゆひ　ゆ　ゆて　刎ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ

[illegible]
[illegible]
分[illegible]
抜[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
四番 [illegible]
十六[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

加丸

田山

梅丸

水

田

篠屋

一風

田

篠屋町

十六番

田

同常盤坊鶴丸評

里雀

ムケル

田山

田

山石

安藤

成

夫の方立

蒲氏

梵字

[illegible]せ[illegible]柳は風に通う千枝
少[illegible]手書く告げて[illegible]砧[illegible]巴凌
[illegible]は咲るまゝ日をくらし東之
付の[illegible]ない月ようは[illegible]紅九
[illegible]紅[illegible]て佛舎利ねはらの[illegible]九
[illegible]を[illegible]て[illegible]いぶる雪の[illegible]
[illegible]園の[illegible]死[illegible]琴[illegible]おり[illegible]孫
[illegible]紅[illegible]川[illegible]ふ[illegible]高[illegible]紅[illegible]弟枝
[illegible]る[illegible]切て[illegible]ふ[illegible]の[illegible]琴[illegible]宮浦
[illegible]る[illegible]舞[illegible]る[illegible]の香[illegible]乳

[illegible]の千[illegible]り[illegible]る[illegible]小社[illegible]
[illegible]まで[illegible]げ下[illegible]長女[illegible]館[illegible]一[illegible]
[illegible]の[illegible]は[illegible]く[illegible][illegible]へ[illegible]丘
[illegible]て[illegible]ふ[illegible]を[illegible]上
[illegible]成[illegible]と[illegible]で[illegible]む[illegible]の下女[illegible]上[illegible]瓶
[illegible]を[illegible]ぐ[illegible]ふ[illegible]師[illegible]恋[illegible]の[illegible]
[illegible]生の[illegible]ふ[illegible]乳の[illegible]雪の[illegible]
[illegible]く[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]母[illegible]
[illegible]堂[illegible]の[illegible]の[illegible][illegible]
[illegible]の[illegible]梅[illegible]下[illegible]云

拾ちらめ物中にたら悪ら め妻 ちえい 岩田

桂男の蔦を取りため長ふい あ藤

四ちも四ちもあき ら近形の高 一雪

宮ちく 立 ちる小才代りの紙 岩田

ちるふ ゆ こ ちの ひ ふ る 栗 ちく 杉牛

ち ふ て わ る の も 恭 中 し 孫 る 梅 ちく 南枝

碁をおとろ生て松ふ事 吳 元 ひ 成

ち ち ふ ひ ち く 蔵 ち ヨ ロ く 岩田

月の雪 ち ち ち ち ち ち 形 係 ち の 雪 ちく 和 和

ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち 田 山

く 見 ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち

同 梅香庵霞月評

打聞
あのゆふべ
[illegible]
[illegible]
利久供し 徳之の所れ みてせな 蔦丘
仏果をいとる 多くの花 [illegible]成
紅葉ハとも 四月三月 [illegible] 東丸
徳孫 [illegible] [illegible]の静 [illegible]
[illegible] [illegible]の上を [illegible] [illegible] 安孫
[illegible]
[illegible]ハさくら 三人の [illegible]を [illegible] 巴陵
風はを [illegible] [illegible]ふ [illegible]月 [illegible]
一日の [illegible]の [illegible] [illegible]の [illegible] [illegible]丸
[illegible]ハ [illegible]ぬ 母の [illegible] [illegible]れ

十油
乃重ゞ [illegible]ある [illegible] 手枝
羽衣ハ三保ハ [illegible]ハ [illegible]衣 [illegible]岡
梅はさくら [illegible]の [illegible]を [illegible] 一号
君ゝ [illegible]を [illegible] [illegible] 蒼丘
[illegible] [illegible]の [illegible]の [illegible] 梅丸
父ハ [illegible]い 母ハ [illegible] [illegible] [illegible] 安孫
[illegible] [illegible]ふ [illegible]を [illegible] [illegible] [illegible]風
[illegible]ハ [illegible]の [illegible]と [illegible] [illegible] 宮浦
[illegible] [illegible]も [illegible]ハ [illegible]花 [illegible] [illegible] 伝人
梅 [illegible]ハ [illegible] [illegible] [illegible] 二の納

木と竹と三つくの伴六いうしの 釈迦連
耶こまゆ八力形の菜力日 菊丘
ムこめ〜解〜ゆこ〜ゆ〜一海深〜 子宝
樹たす 獨り然〜ゆ〜苦の一つ 水
猿蓑を新こて有るその句 高く
蓑を打をこ〜ゆ〜松子こ見 成
主人のなのゆ〜ゆ〜の樹力自 独れ
こ〜ゆ〜ゆ〜金の力入てゆ〜ゆ 岩因
地の苦八ムこゆのつ〜生ゆり お藤
伴〜人のどゆ〜ゆ〜母 一力

俳句八ゆこて苦〜入る苦の句 樹克
初めの苦女〜ゆ〜ゆの杜苦 三由
鶴寿世八苦ゆ〜門の樹ゆ〜 其丘
俳ゆ 俳伴伴〜来〜ゆ〜樹 岡孔
こ〜苑をみゆんで仁ゆり届き 出藤
女〜〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ 田
別出〜〜て亜ゆ苦ゆ苦の苦 扇友
句八苦ゆ〜成〜て旅〜宇宙の里 歩伍
蟬の初 風〜苦を吉し花子 上
亜苦の世〜ゆ伴〜ゆ 絶く苦苦苦 松尾

[illegible]の碓[illegible]ハ赤て[illegible]く　苔丘

刺休　一[illegible]く[illegible]　梅[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]　

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十油

門国ニ人生まれ初る言ふ上
漢り今日時の志上さと彩の為 煎風
ゑ彩られ出たり〳〵言し 皮の昔 寸銘
奈りこ来て 未あること 友 持参
岩 〳〵 いまあふこ〳〵 ふる 岩本
名の清水 ふるこ〳〵 將の毛 山石
思ひあり 有 出たり 名 安達
国清 いつ生 弁 国 清 向一
基の余力 月 苦 仕業 国 山
性の系 雨 降 月 涼し 市枝

栗かい〳〵 啓 乃 岩 ア 絵 ムケル
秋の清 附 絵 る 乃 る 和 る 九
苦 〳〵 辛 別 岩 絵 る 名 の 巻 ムケル
世 仲 の 名 ハ 立 ア 清 し 花 の 俊 市枝
久 孝 不 同 千 戻 る 〳〵 花 東 九
彩 れ 立 絵 人 の 子 夜 立 す 毋 一 刀
晒 末 て 切 と ハ 絵 ち り 月 の 浦 野 矢
永 布 を 弟 上 て 新 〳〵 加 東 風 杉 生
思 ハ 代 を 名 る 寸 吉 仏 の 立 柄 の 曲 土 用 凡
巻油
引板コトリ〳〵 木 弓 の 秋 俊 し 栄

樂評　佐海一木舎　亀浦撰

杉秀色　絶頂ハ雪を絶ハ雲の際　安孫
冠秀色　子繁　こゝの峯こゝの花頂山　和
冠秀色　花頂山　和

扨ゑも用之　　孔明　陸陸

曰くを　扨ゑ　扨ゑ　扨ゑ　雪曲
十油　咲ハ　伐て　咲ハ　花赤　一風
巻油　不ゑ　る　咲　扨ゑ　小扨ゑ　名を　繰の　秋の　遠

樂評　同九鯉庵　諸陸撰

杉秀色　日の出　月て　稲の　咲ハ　る九
冠秀色　冠秀色　冠秀色　我も　沈と　佛の　日　柔竹
冠秀色　貸て

須弥山ハ父　大海ハ　母　安達
寿の徳を　舟の画の　化粧回し　芝居

十油　孝ハ　孝ハ　孝ハ

一寸もなめずとも制禁田山
抱てたゝるも盃三ツ酌柳風
十帖
細工越す格斎を喜ぶ也土瓶
巻帖
ゝゝ八原を哀しと笑ひし家田

俳諧評苑九六冊百九撰
打乗色
只手の先ゝを宮古ゝ岡山涼ト
冠雪
和尚の舎名所ゝ寄る異代ゝ
酒ゝ猪を熟して物を吐く
殺ゝ笑ふかゝもの母家田
十帖
毒茶の匂ハツト俳諧自ら茶枝
巻帖
美僕の俳変白題を三ツ味東之

追加

蝉世

十一ゝ
ほめて
今下ゝ
ゝゝ
父の口も
ゝゝ
ゝゝ
入梅
ゝ
ゝ
海苔ふゝも
無ゝ

發記 一世 林舍李窓

天保五仲夏

芥山 帶屋伊兵衛

同 岩橋屋與市

名古屋 永樂屋東四郎

京都 鉛屋安兵衛

大坂 塩屋平助

笠附青柴垣 天明年中秀吟大寄

笠附若木賊 寛政年中秀吟大寄

笠附新木綿 寛政年中秀吟大寄

同 後編 寛政〻未秀吟大寄

笠附小紫垣 享和文化〻亥秀吟大寄

冠附虫目鏡 文化年中大寄笠附傳授入

笠附三國力士鑑 文政二新版評者点取

浪花書林 大阪心斎橋 高橋平助梓